

シェアウェア「ScreenCutter」「メルプリ I」「WebLog」の Vista 対応について

Vista 対応版の遅れに伴い、現行バージョンのままでの対処方法をまとめました。

Vista にインストールするときの注意点は次の3つです。

- ・管理者権限のあるユーザーでログインしてインストール・運用する。
- ・インストール時とライセンス登録時には UAC(ユーザーアクセス制御)を解除して行う。
- ・インストールフォルダに「Program Files」フォルダを使わない。

追加補足：2008年4月14日

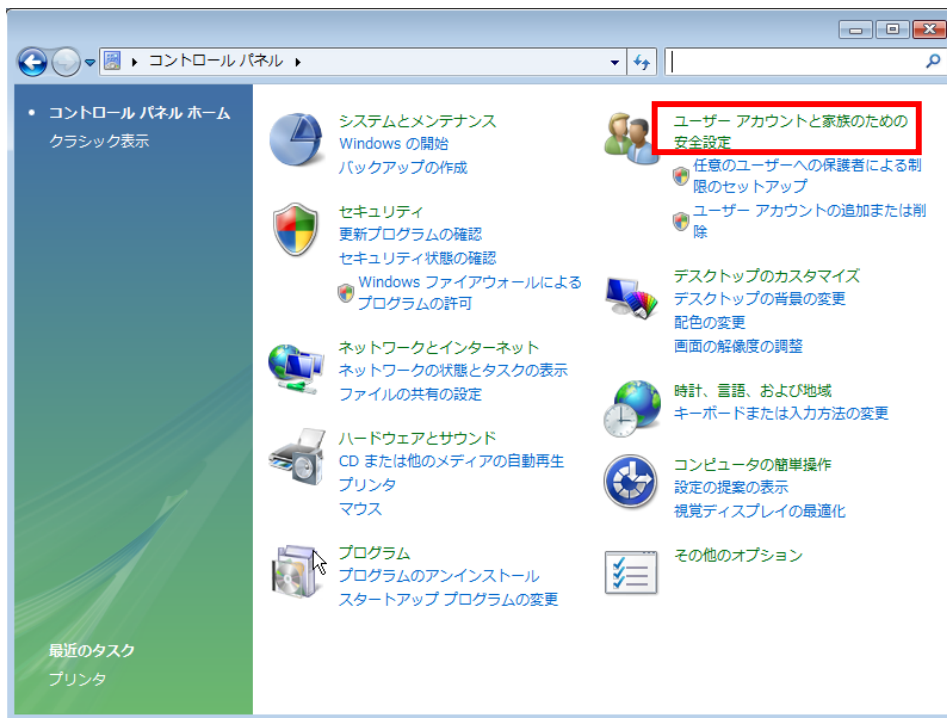
Vista ServicePack1 を適用してください。特に「メルプリ I」を使う場合は必須です。

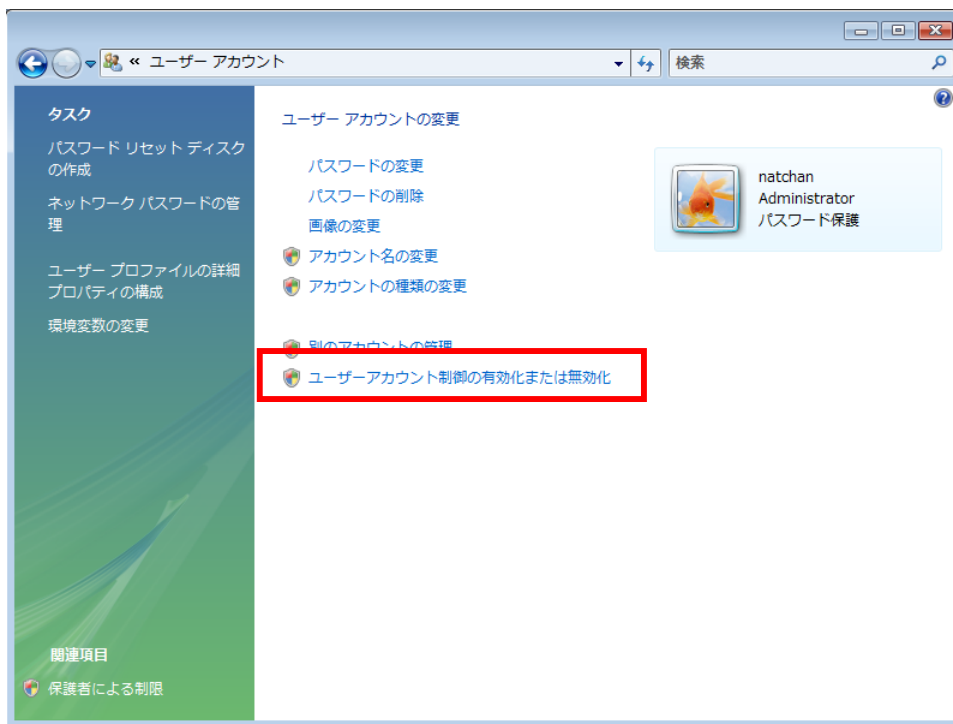
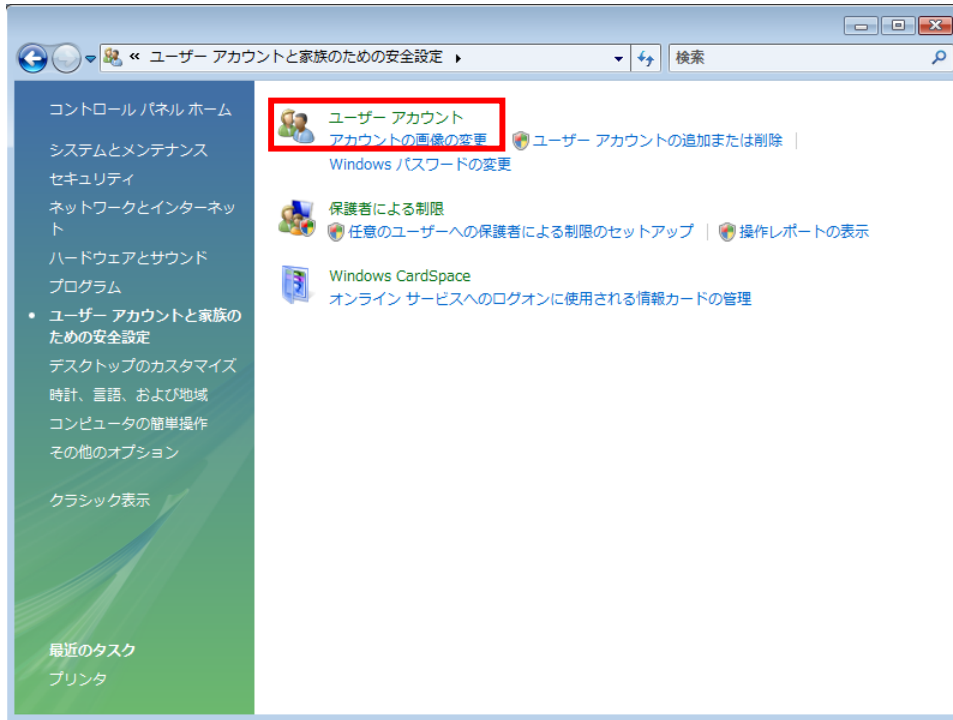
1. 管理者(Administrator)権限のあるユーザーでログイン

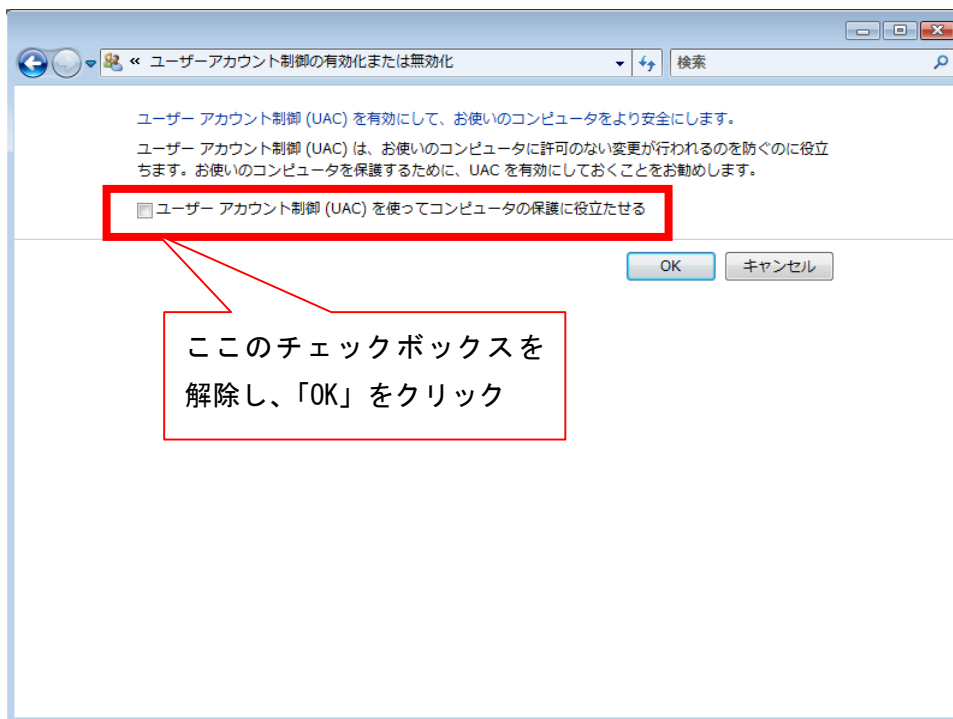
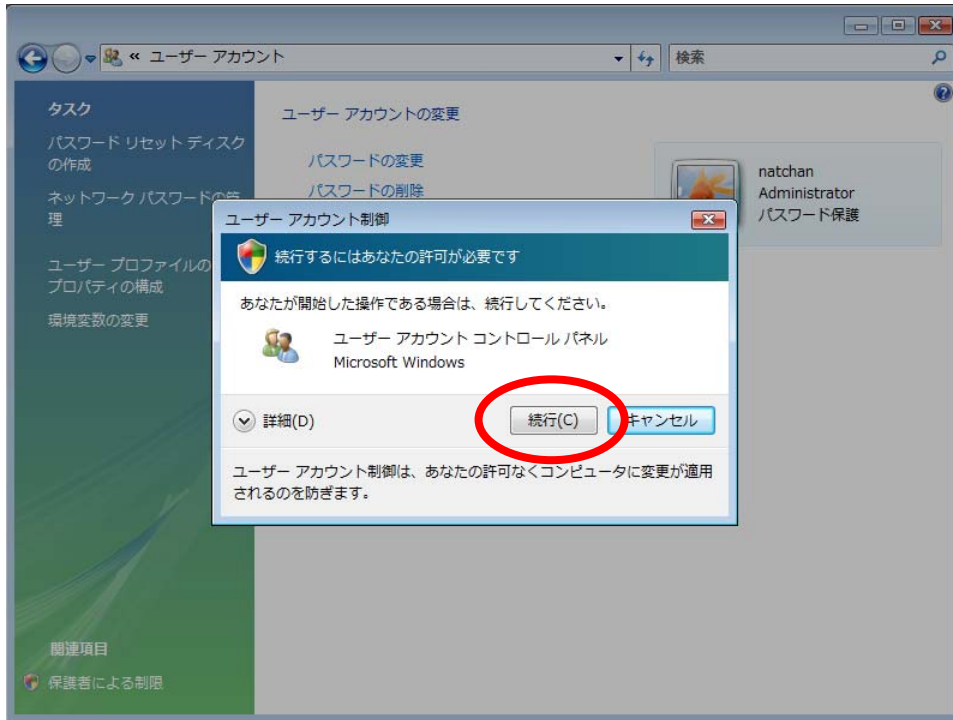
2. UAC(ユーザーアクセス制御)を解除

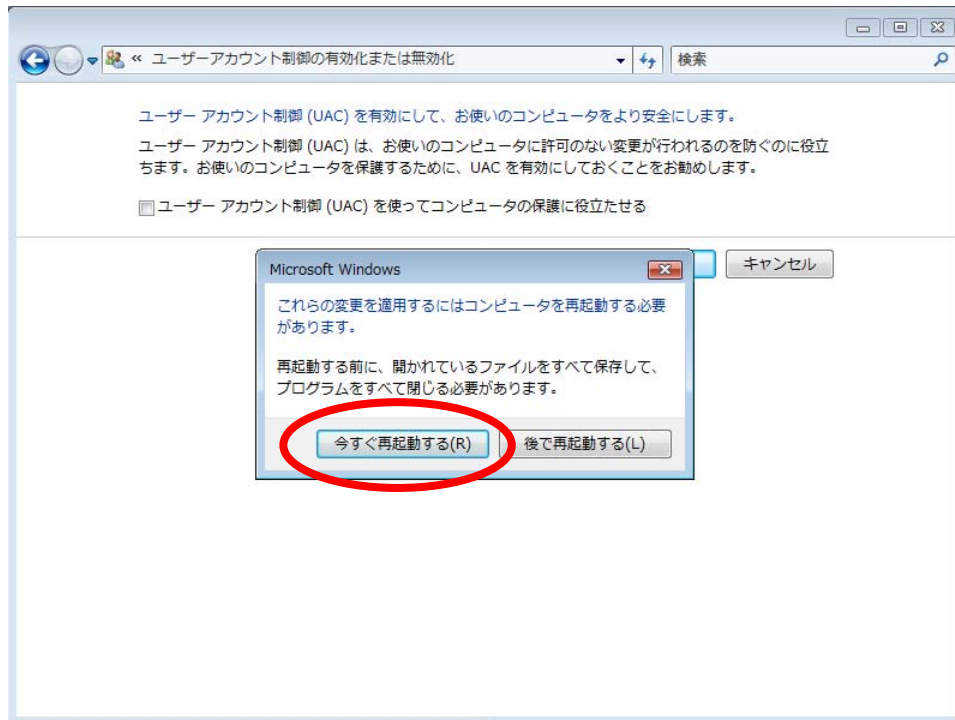
手順：

- ・コントロールパネルからユーザーアカウントを開く









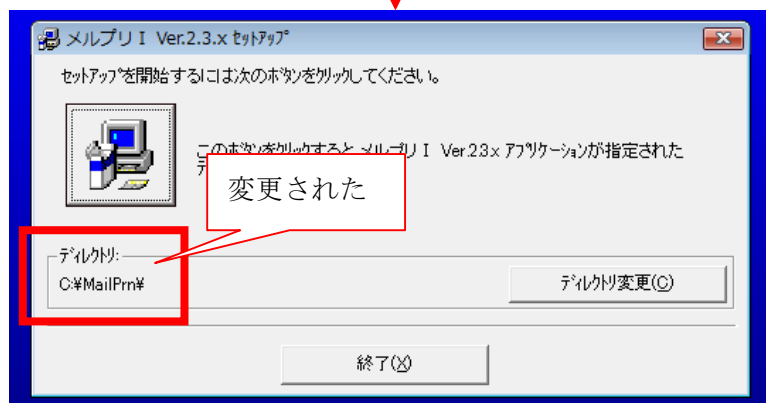
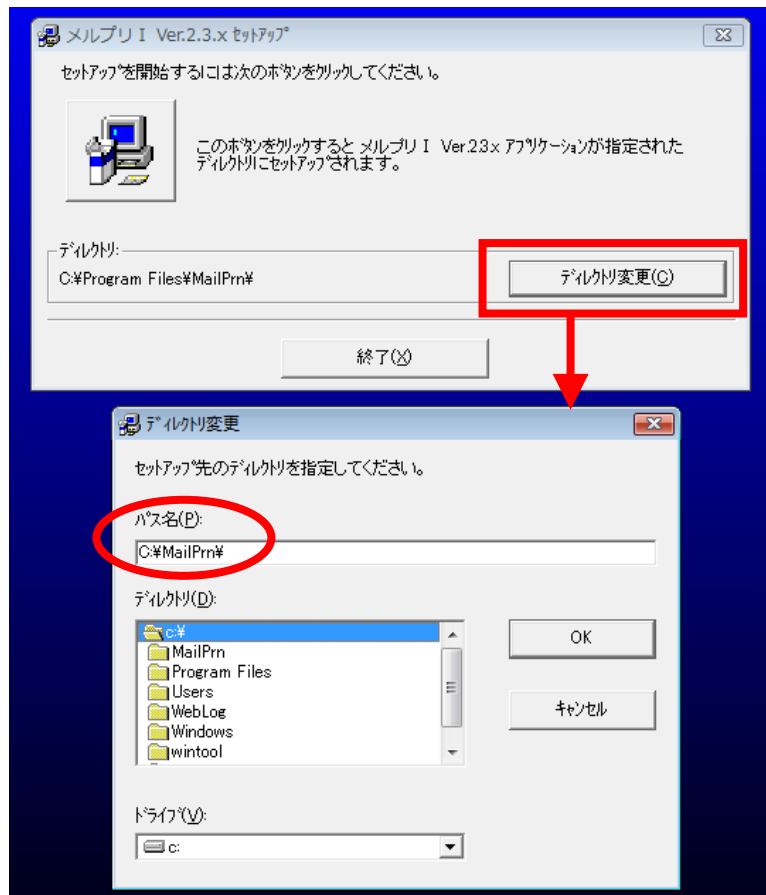
再起動後は UAC が解除された状態になっていますので、このままソフトウェアのインストールを行います。

3. Program Files にはインストールしない

Setup によるインストールでは、下図のように「Program Files」にフォルダを作成してインストールが行われます。（注：ScreenCutter は解凍するだけなので不要。）

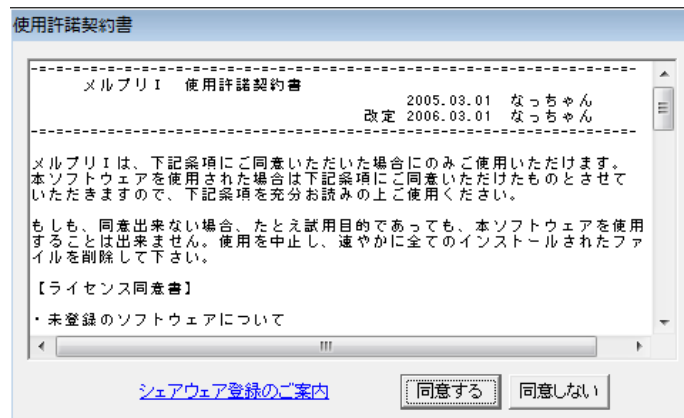
ここで「ディレクトリ変更」をクリックしてディレクトリを変更します。

下図の「ディレクトリ変更」ウィンドウの例で言えば、パス名にある「C:¥Program Filse¥MailPrn¥」の Program Filse¥ を削除し「C:¥MailPrn¥」に変更します。



インストール後、最初の起動時に「使用許諾契約」が表示されます。

「同意する」をクリックしてインストールは完了です。UAC を有効に戻します。



4. ライセンス登録時に再度 UAC を解除する

試用期間が終了後、またはヘルプ画面の「ライセンス情報」を開いてライセンスの登録を行う場合は、再度 UAC を解除してください。ライセンス登録を行えば UAC を有効に戻してください。

